
上海・金山工業区と上海日本中小企業産業園

岡山県大連ビジネスサポートデスク 小林和暁

(日中経済貿易センター上海事務所 所員 (大連代表処兼務))

5月30日、上海市外事辦公室の招きにより金山区にある金山工業区を視察しました。同区では上海市内にありながらまだ緑が多く、交通が便利で地理的な優位性があることから、引き続き製造業の誘致が進められています。また、昨年工業区内に「上海日本中小企業産業園」が設置されたことから、さらに注目が高まっています。

金山区

上海市の南西に位置する金山区は、戸籍人口 52 万人、常駐人口 80 万人、面積は 611 平方キロメートルの区である。7 本の高速道路が通り、同区を中心とした自動車 1 時間圏内には、上海市のほか、杭州市、蘇州市など 16 都市が入る。上海虹橋空港まで約 40 km、浦東空港まで約 55 km、洋山深水港までは約 60 km の距離にある。同区北部には上海・杭州を結ぶ高速鉄道の金山北駅があり、上海虹橋駅までをわずか 16 分で結ぶ。また、同区西部には 6 月にライトレール 22 号線が開通する予定で、最高速度 160 km/h の列車が上海南駅まで約 25 分で結ぶ。区内には、亭林駅、金山工業区駅及び金山新城駅の 3 駅が設置される。

金山工業区

金山工業区は、同区に位置する市クラスの工業区で、計画面積は 58 km² であり、通信、エネルギー供給、汚水処理などのインフラが整備されている。

電子情報・先進設備、バイオ医薬、新エネルギー・省エネ・環境、新材料、食品加工、環境に優しい印刷業を 6 つの柱として投資誘致を進めており、現在同工業区には包装資材を生産する福助工業や、自動車用タイヤの中に組み込む金属線を生産するトクセン工業など日本企業 118 社が進出している。これは同区に進出する外資系企業のうち約 2 割を占める。また、山崎製パンの進出が決定しているとのことである。



人件費は、最低賃金が 1,450 元/月 (2012 年 4 月～)、金山区政府が発表している給与ガイドラインでは、一般ワーカーが 1,500～2,000 元/月、一般管理職が 2,500 元～3,500 元/月、高級管理職が 4,000 元～8,000 元/月となっている。



上海日本中小企業産業園

2011年9月、金山工業区の中に上海地区唯一の特定の国向けの開発区である「上海日本中小企業産業園」が設置された。同産業園は、日本の中小企業に的を絞って投資誘致するもので、オフィスビル、R&D、レンタル工場、オーダーメイド工場や関連施設を建設し、日本の中小企業のニーズに応える。計画面積は2.1km²で、G15高速道路やライトレール22号線金山工業区駅に近い。



誘致業種や企業規模に制限はないが、省エネ・環境に優しい企業、技術力が高い企業、あるいは管理モデルが先進的である企業をターゲットに据え、投資誘致を進めている。

同産業園は現在建設中で、レンタル工場も完成していないが、賃料は、上海市内では安い0.75元/m²/日を予定している（この他に2.7元/m²/月の管理費が必要。）。日本中小企業産業園と言うだけあり、同産業園には日本語レベルの高いスタッフが配置され、日本式のサービスも提供できるとのことである。

